

# 第117回 (令和元年7月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準1級問題

## <問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。  
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <入力データ>

商CO	商品名	仕入数	仕入額
11	商品A	2,345	5,268,740
12	商品B	1,982	5,306,830
13	商品C	2,491	4,993,420
14	商品D	2,300	5,602,580

※<出力形式1>で使用する。

得CO	商CO	売上数
101	11	710
101	12	735
101	13	761
101	14	679
102	11	912
102	12	537
102	13	825
102	14	784
103	11	698
103	12	683
103	13	874
103	14	820

※<出力形式2>で使用する。

## <増量数表>

仕入数	仕入額	増量数
2,300以上	かつ 520万以上	70
それ以外		40

## <得意先テーブル>

得CO	得意先名
101	スター商事
102	KLS総業
103	小早川物産

## <掛率表>

売上数	掛率
820以上	89%
710以上 820未満	91%
1以上 710未満	93%

## <処理条件>

- <出力形式1>のような商品別原価計算表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 仕入値引額=仕入額×4.7% (整数未満切り捨て)
- 増量数は<増量数表>を参照し、求めなさい。  
原価=(仕入額-仕入値引額)÷(仕入数+増量数) (10位未満切り上げ)
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような得意先別売上一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 得意先名、商品名は、それぞれ<得意先テーブル>、商品別原価計算表を参照しなさい。
- 定価=原価×1.3 ※原価は商品別原価計算表を参照する。
- 掛率は<掛率表>を参照し、求めなさい。(％表示とする)  
売価=定価×掛率 (整数未満切り捨て) 売上額=売価×売上数
- 売上数が825以上または売上額が210万以上に“好調”の判定をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 売上数の降順に並べ替えなさい。
- 得意先別売上一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式3>の売上額を得意先名別の縦棒グラフにしなさい。  
タイトルは“売上額の比較”とし、凡例は“売上額”とする。

## <出力形式1>

商品別原価計算表

商CO	商品名	仕入数	仕入額	仕入値引額	増量数	原価
( 途中省略 )						
——	合計					——

## <出力形式2>

得意先別売上一覧表

得CO	得意先名	商CO	商品名	定価	売上数	掛率	売価	売上額	判定
( 途中省略 )									
——	合計	——	——	——	——	——	——	——	——

## <出力形式3>

得意先別集計表

得意先名	売上数	売上額
スター商事		
KLS総業		
小早川物産		